

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	
課題名	司法解剖時の開口困難事例における遺族感情に配慮した開口方法の開発
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2023年 3月 31日
研究の対象	本研究期間の間に本学法医学講座で法医解剖に付される御遺体
利用する試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 診療情報（詳細： ） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他（法医解剖体）
研究の意義、目的	<p>司法解剖前において、死後硬直、熱硬直、乾燥等により開口が困難な事例にしばしば遭遇するが、そのような開口困難な事例の歯牙および口腔内所見を得るには、口を横に大きく切開する他ない。そこで内側からの筋接合部の切断やタンパク分解酵素を用いた筋弛緩、または電気刺激による筋操作等により、顔に痕跡を残さない開口方法を開発することを本研究の目的とする。</p>
研究の方法	<p>①閉口筋（側頭筋、咬筋、内側翼突筋口筋）の収縮力を解放させる方法、具体的には、側頭筋が付着する頬骨弓内に位置する筋突起部分へのタンパク分解酵素を注入、あるいは口腔内からの部分的剥離を行う。</p> <p>②開口筋に対しては、電極針を刺入し、微弱な電気エネルギーを加え収縮力を強める方法論を考えている。</p>
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：  〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1-1  旭川医科大学 法医学講座  奥田 勝博（研究責任者）  Tel: 0166-68-2433</p>